



令和7年度 川上村地域おこし協力隊 活動報告会

日程：令和7年2月15日(土)

時間：13:30～16:30 (13:00開場)

場所：川上総合センターやまぶきホール
〒639-3553 川上村大字迫1374-2 (宮の平)

主催：川上村



はじめに



川上村長 泉谷 隆夫

本日は、お忙しい中、地域おこし協力隊活動報告会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

全国各地で、過疎や少子高齢化により自治体としての存続が危ぶまれるほどの人口減少、地域の担い手不足が深刻な課題となっており、川上村でもそうした大きな課題に取り組んでいます。

本村では、平成25年度から地域おこし協力隊制度を導入し、これまで28名の若者を全国各地から受け入れてきました。現在は6名の隊員が地域で学び水源地の村ならではの活動を展開しています。

本日は、彼らの地域での学び、自らの課題への取り組みについて報告いたします。

地域おこし協力隊活動は「隊員」、「行政」、そして「地域の皆さま」との連携がなければ成功しません。本日は、報告をお聞きいただくことで、さらにご興味を持っていただければと思っております。本日の活動報告会を機に、彼らとの関係をさらに深めていただきたく考えています。それにより、彼らの事業は官民協働、住民協働の事業へとステップアップしてもらいたいと強く期待しております。このために村としては、可能な限り彼らを、バックアップしていく所存であります。引き続き、地域おこし協力隊事業へのご理解、ご協力をお願いしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。



下多古村有林
～歴史の証人～

かわかみ

・・・川上村と地域おこし協力隊・・・

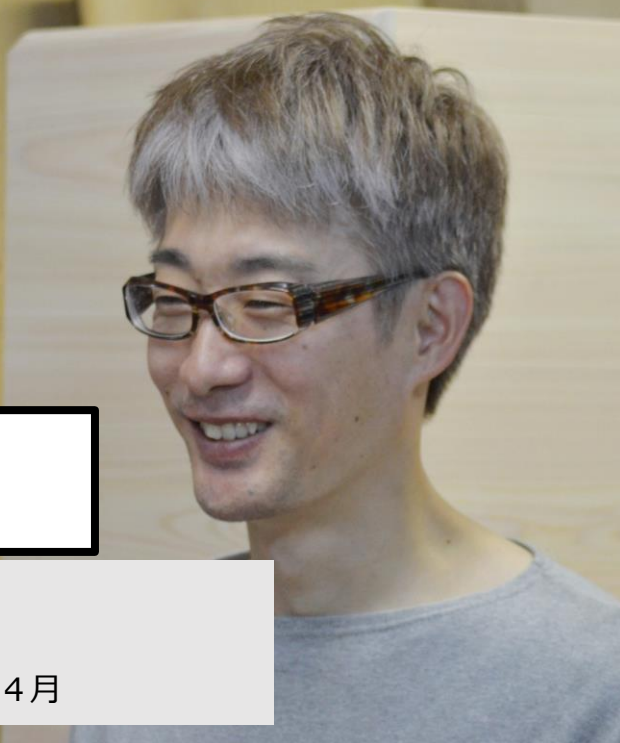
地域おこし協力隊制度は、平成21年に総務省事業として創設され、移住定住を促進すべく、全国7,200人の協力隊が移住しています(令和6年3月時点)。川上村でも隊員が村内各地に住み、自らの生業を作るべく活動しています。

そんな隊員たちの活動を皆さんに知っていただけるよう、昨年に引き続き、活動報告会を開催しました。各々の活動報告からは活動内容だけでなく、村への思いも感じていただけるのではないかと思います。

報告をより身近に感じていただけるように、次ページ以降に隊員プロフィールや活動内容等を掲載しました。どうぞ、ご一読くださいますよう、お願いいたします。



堂谷木工製作所



堂谷 孤空

Koku Doutani

前住所：大阪府

現住所：西河

採用月：令和4年4月



たくさんの方にご協力いただき、西河で木工製作をさせていただいています。昨年はワークショップにも挑戦しました。次年度もさらに木工を通して地域に人を呼び込めるように活動していきます。

川上村地域おこし協力隊

MEMBERS

林業（作業道開設）



島崎 靖章

Yasuaki Shimazaki

前住所：東京都

現住所：粉尾

採用月：令和4年5月



今年度は作業道や林業以外にも川上村の特産を使ったアマゴの燻製やヒノキ製油キャンドルといった製品の開発を行っていました。来年度支援員として川上村に残り林業+αの生業を形にしていけるように頑張ります。



樽丸、
吉野材魅力発信

野一色 将矢

Shoya Noishiki

前住所：橿原市

現住所：白川渡

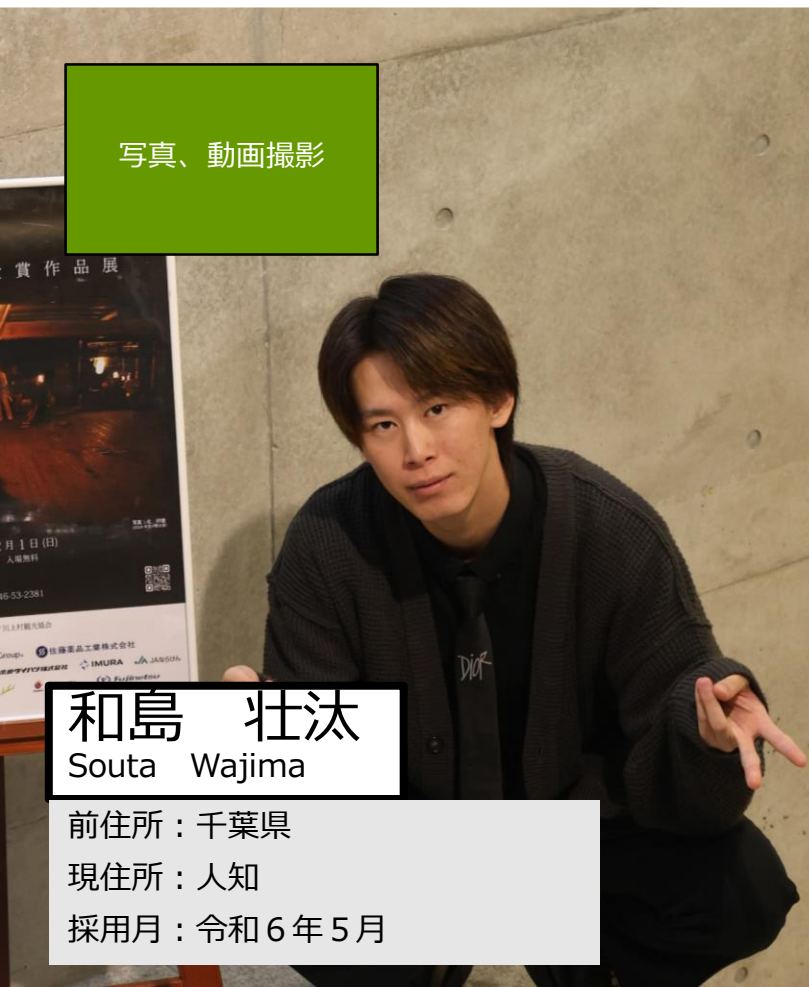
採用月：令和5年11月



今年度は村内外、太鼓を通じて多くの人と交流しましたが、木の魅力発信が弱かったと反省しています。今後は樽丸工場で学んでいる木や吉野林業の魅力を伝えるためのコンテンツ制作に励みます。

川上村地域おこし協力隊

MEMBERS



写真、動画撮影

和島 壮汰

Souta Wajima

前住所：千葉県

現住所：人知

採用月：令和6年5月



川上村での1年は試行錯誤の連続でしたが、写真や映像を通じて地域の魅力を発信し、多くの人と出会い成長できました。今後は発信の幅を広げ、自身のスキルを磨きながら地方の価値を届けられる人材を目指します。

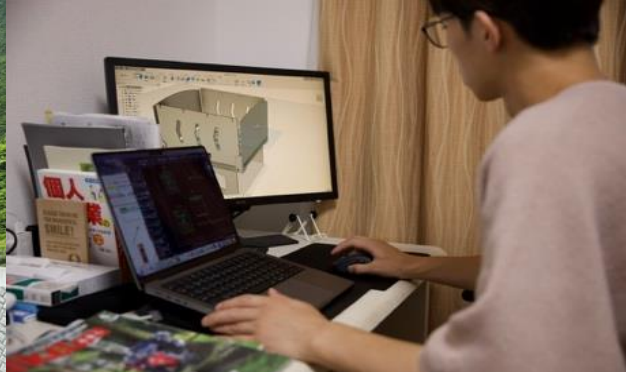
川上発キャンプ
道具ブランド

杉山 敬真
Keishin Sugiyama

前住所：神奈川県

現住所：人知

採用月：令和6年5月



今年度は、村での活動の基盤を確保し、視野と知見を広げる一年でした。豊かな日常を過ごせています。今後は活動の幅を広げ、地域の方々の繋がりをもっと増やしていけるようにしていきます。

川上村地域おこし協力隊

MEMBERS



地方での演劇の可能性と
日本の文化・風景の継承

川上 結鶴
Yuzuru Kawakami

前住所：大阪府

現住所：上多古

採用月：令和6年5月



1年目は、川上村の皆さまから賜りました、多くのご温情が、深く染み入る1年となりました。心からの感謝を申し上げます。少しずつでもお返しできる2年目にしていければと思います。



高田 彩子
Ayako Takada

新たな仲間
"かわかもん"あつめ

前住所：大阪府
現住所：上多古
採用月：令和2年4月



川上村で暮らして見てきた景色と川上村でお世話になっている方々から聴いた思い出や言葉が結ばれ、また川上村に新しくやってくる方々に届けることができた一年でした。周りにいてくれる人に感謝し、これからもこつこつ、日々を歩んでいきたいです。

川上村地域支援員

MEMBERS

未木設計舎
一級建築士事務所



向川 智己
Tomoki Mukaigawa

前住所：大阪府
現住所：東川
採用月：令和2年7月



支援員最後の年。活動の一つである廃墟映画館が奈良県建築士会主催「場を生むデザイン賞」で奨励賞を頂きました。また、廃墟を店舗にする計画も始めました。任期終了後もこれらの活動を通し地域と関り続けていきます。

林業事業体への
インターン

後藤 佳希

Yoshiki Gotou

前住所：茨城県

現住所：上多古

採用月：令和3年8月



地域支援員になってからインターンで村内の林業事業体へお邪魔して、協力隊期間中にはあまり経験出来なかった伐採等について勉強しています。杉・檜の大径木の伐採や搬出のほか広葉樹の伐採等も経験し林業並びに川上村の奥深さを実感しました。

川上村地域支援員

MEMBERS

FRONDA
(フロンダ)



本多 孝光

Takamitsu Honda

前住所：東京都

現住所：上多古

採用月：令和6年5月



お陰様で、山守の方々に枝を譲って頂き、堂谷木工製作所・木工センターで木工経験を積ませて頂きました。以後、上多古の皆様の優しさに感謝しながら、枝・株を有効活用した家具創りへと邁進します。

堂谷木工製作所



目的

木工品の製作販売とワークショップ

概要

堂谷木工製作所として自身の作品の製作と販売をオンラインで行っています。また、依頼された家具や木製品の修理や製作業務もおこなっています。昨年は川上村の豊かな森林資源と産出地の優位性を活かし、生木を使ったワークショップも開催しています。木材産地の歴史を伝えながら体験型木工として楽しんでいただけるようなワークショップを行い、自身のファンと川上村のファンを増やします。

担当



堂谷 孤空

左上:「隅切お盆製作」風景

右上:「依頼品小箱製作」風景

左下:「人間環境大学様ワークショップ」風景

右下:「遊水フェスタミニ扇風機作り
ワークショップ」風景

令和6年度の取り組み

通年:木工製作品の製作と販売

4月:スツールの雑誌掲載

5月:スツール再販

7月:源流ツーリズム主催ワークショップ開催

8月:西河徳蔵寺灯籠と香炉台修理

遊水フェスタワークショップ開催

9月:人間環境大学様向けワークショップ開催

11月:倉庫片付け

12月:新作お盆販売開始

林業(作業道開設)&特産品開発



目的

吉野林業振興と川上村資源開発

概要

作業道開設を中心として活動しています。他には特産品開発として川上産アマガゴの燻製やヒノキ製油のアロマキャンドルを作っています。川上村は吉野林業の中心地として500年の育林の歴史があります。昨今の木材価格の低迷や出材コストの上昇によって山から木を出すことが困難になっている現状を好転させるためにも可能な限り作業道を入れ持続的な林業経営を行っていけるように頑張っています。また山と水源の村である川上の資源を活かしたアマガゴの燻製やヒノキのアロマキャンドルの開発で川上を微力ながら盛り上げていきたいと思っています。

担当



島崎 靖章

左上: 作業道開設作業風景

右上: 境界調査同行の様子

左下: 消防訓練

右下: 特産品販売イベント出店 (FUN木FES)

令和6年度の取り組み

通年: 作業道開設、消防団

4月: 三之公の森混交林化作業

5月: 作業道開設開始

9月: 作業道開設終了

11月: FUN木FES出店

樽丸、吉野材魅力発信



目的

吉野材、吉野林業に関する情報収集＋発信

概要

今年度は村内外で太鼓を通じて多くの人と交流し、貴重な経験を得ることができました。しかし、当初の目標であった木の魅力を発信する活動が十分ではなかったと反省しています。現在は樽丸工場で作業を通じて吉野杉の特性や加工技術を学んでいます。そして、吉野林業の伝統や木材の素晴らしさを広く伝えるため、木材に関する新たなコンテンツ制作に力を入れていきたいと考えています。今後も木と人を繋ぐ活動を続けていきます。

左上：東京イベント出演

右上：樽丸工場

左下：よしのウッドフェス

右下：奉納演奏

令和6年度の取り組み

6月：太鼓奉納演奏

9月：東京イベント出演

10月：よしのウッドフェス

11月：樽丸工場研修スタート

担当



野一色 将矢

写真、動画撮影



目的

地域の魅力を伝える

概要

「地域の魅力を伝える」をテーマに、村民との交流を目的とした「星見カレー」の開催や、吉野町のウッドフェスやfan木fesでは、川上のアマゴやキャンプブランドのPRを行いました。奈良県CM大賞への応募映像制作、村民大運動会や源流学園の撮影も担当。3月には写真個展を開催予定。さらに、tocotocoの森キャンプ場での撮影や運営サポートを行い、地域資源を活かした活動を展開した1年間でした。

担当



和島 壮汰

左上: tocotocoの森で撮った写真

右上: fan木fesで売った商品！

左下: 星見カレーで来てくださった人たち！

右下: がんばれ村民大運動会！

令和6年度の取り組み

6月: tocotocoの森撮影

7月: 星見カレー実施

10月: 運動会撮影、CM大賞撮影

吉野ウッドフェス出店

11月: fan木fes出店

かみせタイム撮影

川上発キャンプ道具ブランド



目的

キャンプアクティビティを通じた
村の活性化・認知度向上

概要

私の主な活動は、オリジナルの商品を開発・販売するキャンプ道具ブランドを立ち上げ、商品を通じたプロモーションで村の認知度向上に寄与することです。地域資源やふるさと納税制度の活用など、地域に資する事業を目指しています。

現在は村内キャンプ場「tocoocoの森」でスタッフとして勤務し、村内での活動の拠点とさせていただきます。キャンプを通じた活動の他、村民の方が集い交流できる様なイベントの企画なども行っています。

担当



杉山 敬真

左上: 焚き火台試作品での火おこし

右上: Open café秀さんの「サンタツーリング」

左下: 吉野ウッドフェスであまごの塩焼き販売

右下: 雪の下多古を登り歴史の証人に触れる

令和6年度の取り組み

5月: かわかみらいふ・tocoocoの森での研修

6月: 川上村モルックチャレンジに参加

7月: 村民交流会「星見カレー」を実施

8月: かみせ祭り出店手伝い

9月: ふるさと回帰フェア2024(東京開催)

川上村出展に同行

10月: 吉野ウッドフェス出店

11月: 「FAN木FES」に出店

「奈良CM大賞」応募作品撮影アシスタント

12月: Open café 秀主催「サンタツーリング」に参加

地方での演劇の可能性と日本の文化・風景の継承



目的

川上村や奥大和を知る1年目

概要

1年目は、川上村や奥大和を知る事と、村の方へのご挨拶と交流を意識するよう心掛けて活動してきました。

お陰様で、思ったよりも沢山の方と、お会いできたと感じております。

色々なお話を伺う中で、まだまだ知らない事や、経験できていない事が沢山あるなど感じています。村の歴史や文化をより深く学び続けていながら、活動の根幹となる、演劇活動もプラスして、充実した2年目へと繋げていければと思います。

担当



川上 結鶴

左上：歴史の証人の勉強

右上：支援員向川さんの廃墟映画館1日館長

左下：モルックチャレンジ参加

右下：奥大和コミュニティマネージャーの方々と登山

令和6年度の取り組み

通年：川上村の方との交流・勉強奥大和、地方の事を知る

5月：かわかみらいふでの研修

6月：モルック大会

奥大和コミュニティマネージャー研修会

7月：旧白谷地区で星見カレー開催

10月：廃墟映画館1日館長

11月：直島研修

12月：ダムや川上村の昔の資料を勉強

2月末：かわかみらい(予定)

協力隊募集業務(+情報整理)／ 一般社団法人おおずみ舎との場づくり



目的

地域のリアルや可能性を
情報発信

概要

今年で川上村地域おこし協力隊の受け入れは11年目を迎えました。いろいろな人が集まる川上村ですが、高齢化による課題や観光業で頑張る川上村には“人”が付きものです。昨今はインターネットでいろんな情報が届けられますが、「なぜか上手く伝わらない」ところがあると思います。グラフィックデザインに携わる身として、一步前に進んで読み手目線に立ち、取材の記事を書いたり情報整理をすることで川上村に来てもらえるためのハードルをひとつずつ無くしていく事に取り組んでいます。また、川上村を愛してくれている人の拠り所となる「おおずみ舎」の整備を行いました。

担当



高田 彩子

- 左上:かわかもんの手引書サイト
- 右上:Kawakami meet nightsの様子
- 左下:Kawakami meet nightsの様子
- 右下:柿の葉寿司関連協力隊員募集の記事

令和6年度の取り組み

通年:ミッション型(柿の葉寿司など)協力隊員募集
の記事を制作

→興味を持ってくれる方とお話。

5月:かわかもんの手引書サイトを公開

6月:Kawakami meet nights

8月:柿の葉寿司の記事を公開

未木設計舎 一級建築士事務所



目的

木材の魅力を村外に発信する
空き家・廃墟の利活用

概要

建築に纏わる活動を通し、木材・地域の魅力を発信しています。今年度は木材の需要・関心を高める事を目的に、建築士会を活用し、村外にて木育事業を実施しました。毎月開催される建築士会の定例では、木造校舎である源流学園、木材・林業の事など、建築士会員が川上村に関心を寄せるように発言・発信をしています。

また、空き家・廃墟の活用方法を探るため実験的に廃墟を古道具屋として活用する計画も村内法人と共に始動しました。

担当



向川 智己

- 左上：匠の聚調査中、屋上からの眺め
- 右上：木育キャンプフェスで植樹をしました
- 左下：木づかいフェスタで子供向け大工体験
- 右下：廃墟映画館東川ノイマで上映会

令和6年度の取り組み

- 通年：建築士事務所の運営、奈良県建築士会活動
消防団活動
- 4月：匠の聚劣化調査・長寿命化計画策定の開始
健康福祉課主催「オトナの見学さんぽ」建築案内
校
- 5月：廃墟映画館東川ノイマ上映会の開催
廃墟店舗化計画 地域住民説明会を実施
- 6月：森林インストラクター養成講座の受講開始
- 7月：夏休み宿題木工工作教室を実施(建築士会)
- 8月：人足・公民館清掃に参加
廃墟映画館東川ノイマ上映会の開催
- 9月：奈良の木でつくる木造非住宅技術者研修
企画・運営開始(建築士会)
- 10月：木づかいフェスタワークショップ実施(建築士会)
- 11月：木育キャンプフェス 開催(建築士会)
- 12月：廃墟店舗化計画 残留物・解体工事完了

林業事業体へのインターン



目的

林業に関する技術と知識の習得

概要

協力隊期間中は作業道開設に集中していたので、伐採や搬出などの作業についての知識や技術の習得が不十分だと感じていました。現在は村内の林業事業体へお邪魔して伐採やヘリでの搬出といった作業に参加しながらノウハウを学んでいます。今年お世話になった中平林業さんでは、特殊伐採や捨て伐り間伐のほか天然林にて泊まり込みでの広葉樹の伐採、架線の索道設置など協力隊時代には経験出来なかった様々な作業に参加しました。そのどれもが林業において不可欠な作業であると同時にそれぞれに異なる技術や知識を必要とするため、大変勉強になりました。

担当



後藤 佳希

左上：特殊伐採の様子

右上 天然林で泊まり込みの伐採

左下 伐採した桁の木

右下 銘木市場に出品した様子

令和6年度の取り組み

通年：特殊伐採

6月：捨て伐り間伐

8月：索道設置

10月：天然林での広葉樹伐採

12月：銘木市

FRONDA(フロンダ)



目的

山に置き去られてきた枝や株を大切な恵みとして家具創りをします。

概要

ブランド名:FRONDA(フロンダ)は伊語で“葉を付けた小枝”を指します。今まで山に置き去りにされて来た枝や株を有効活用し自然な曲がりや節も包み込んだ、ナチュラルでエシカルな、人にも社会にも優しい家具創りを目指します。今後、枝や株だけでなく、資源の有効活用率を上げる新たな6次産業創出が川上村存続の一助となると信じ、取組みの対象と範囲を増幅させますので、皆様にご理解とご協力を頂けずと幸いです。

担当



本多 孝光

左上:FRONDAブランドロゴ&ビジュアル

右上:木の家具40人展 出展風景

左下:枝の皮剥き作業の様子

右下:林業就業支援講習受講風景

令和6年度の取り組み

通年:FRONDA(フロンダ):

枝・株材を使った家具創り

5月:木の家具40人展 作品製作

6月:堂谷木工製作所にて研修

11月:林業就業支援講習受講

12月:木工センター勤務

川上村地域おこし協力隊・地域支援員 PHOTO ALBUM

川上村の地域おこし協力隊の活動は多方面にわたり、さまざまな繋がりを生んでいます。その経験を発展させ、現在はさまざまな分野の活動に取り組んでいます。彼らの活動を少しではありますが、フォトアルバムとして掲載しました。

引き続き、彼らの活動に期待していただければと思います。

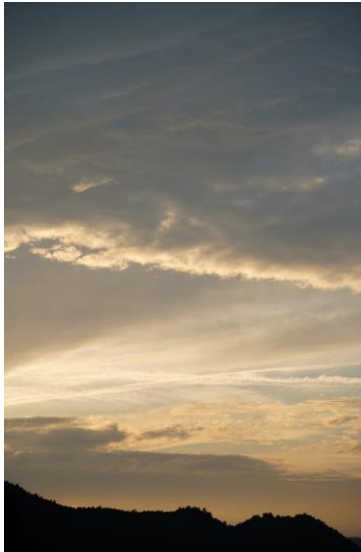
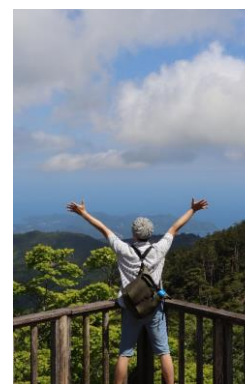




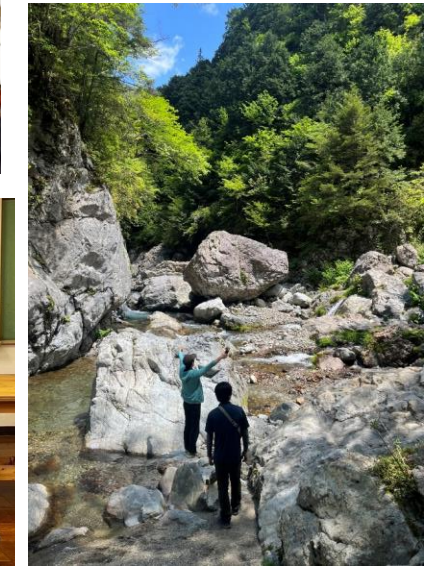
川上村地域おこし協力隊 PHOTO ALBUM



川上村地域おこし協力隊 PHOTO ALBUM



川上村地域おこし協力隊 PHOTO ALBUM



地域おこし協力隊とは・・・

地域を変える力 になろう。

「都会を離れて地方で生活したい」「地域社会に貢献したい」
「人とのつながりを大切にして生きていきたい」
「自然と共存したい」「自分の手で作物を育ててみたい」…。

今、都会に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、
文化などに恵まれた「地方」に注目しています。

「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、
地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、
その定住・定着を図ることで、
意欲ある都市住民のニーズに応えながら、
地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。
(移住・交流推進機構ホームページより引用)



これからも、
応援よろしく
お願いいたします！

